



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	利尻島における鯨類漂着等記録（～2015）
Author(s)	松石，隆；松田，純佳；黒田，実加 他
Citation	利尻研究， 36， 83-88
Issue Date	2017-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/64595
Type	journal article
File Information	Rishiri-FINAL.pdf



利尻島における鯨類漂着等記録(～2015)

松石隆¹・松田純佳¹・黒田実加¹・佐藤雅彦²・佐藤里恵³・石川創⁴

¹〒041-8611 北海道函館市港町 3-1-1 北海道大学大学院水産科学研究院

²〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

³〒097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字栄浜 142 日本野鳥の会道北支部

⁴〒750-0036 山口県下関市あるかぽーと 6-1 公益財団法人下関海洋科学アカデミー鯨類研究室

Stranding records of cetaceans from Rishiri Island (～2015)

Takashi Matsuishi¹, Ayaka Matsuda¹, Mika Kuroda¹, Masahiko Sato², Rie Sato³, and Hajime Ishikawa⁴

¹Faculty of Fisheries Sciences, Hokkaido University, Minato, Hakodate, Hokkaido, 041-8611 Japan

²Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

³Do-hoku branch, Wild Bird Society of Japan, 142, Sakaehama, Kutsugata, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan

⁴Whale Laboratory, Shimonoseki Academy of Marine Science, Arcaport, Shimonoseki, Yamaguchi, 750-0036 Japan

Rishiri Island is located in the Sea of Japan off the west coast of Hokkaido, Japan. Stranding record at this island could be important information for understanding the migration of the cetacean in the Sea of Japan. A total of 21 stranding records were collected. Each stranding records consisted of one individual. The records include 6 Stejneger's beaked whales *Mesoplodon stejnegeri* (including one unidentified *Mesoplodon*), 4 Dall's porpoises *Phocoenoides dalli* (one *truei*-type, two *dalli*-type and one type unidentified), 4 harbor porpoises *Phocoena phocoena*, 3 Baird's beaked whales *Berardius bairdii*, 1 killer whale *Orcinus orca*, 1 beluga *Delphinapterus leucas* (sighting) and 2 unidentified cetaceans.

Key words: Rishiri Island, stranding, cetacean, Stejneger's beaked whale, Dall's porpoise

はじめに

利尻島は、北海道西岸日本海に位置し、主として対馬暖流の影響を受ける離島である。日本海に生息する鯨類がオホーツク海へ回遊する際に利尻島の近くを回遊すると考えられ、利尻島に漂着する鯨類の記録は、日本海に生息する鯨類の分布回遊を知る手がかりになる可能性が有る。

本島における鯨類の漂着は、明治時代から記録に残されてきたが、種同定や標本保存が行われるようになったのは1990年代以降のことであった。1997年10月から1998年2月の間に、ツチクジラ *Berardius bairdii* (1997年10月21日)、オウギハクジラ *Mesoplodon stejnegeri* (1998年2月16日)、ネズミイルカ *Phocoena phocoena* (1998年3月16日)の漂着があり、その時点で国立科学博物館海棲哺乳類漂着データベースに記録があったオウギハクジラ(1993年1月5日)とあわせて報告がなされている(佐藤・山田 1999)。その後、整理された情報や発生した漂着情報が、日本鯨類研究所、国立科学博物館、およびこれらの情報を取り込んだ下関鯨類研究室ストランディングデータベースに蓄積された。

2007年にストランディングネットワーク北海道(SNH)が発足し、積極的に北海道内の鯨類漂着

情報を収集するようになってから4件の漂着があり、特に2015年4月11日に漂着したオウギハクジラについては、SNHが現場に赴いて詳細な調査を実施した。

本稿では、これらの情報をとりまとめ、現在確認されている利尻島における鯨類の漂着情報を可能な限り網羅した。

なお、鯨類漂着情報をお寄せいただいたほか、処理や調査になどにもご尽力いただいた利尻町および利尻富士町の職員、島民の方々に心から感謝申し上げる

利尻島における鯨類漂着等情報

下関鯨類研究室ストランディングデータベース(石川 2013, 2014, 2015), ストランディングネットワーク北海道データベース <http://kujira110.com>, および利尻町立博物館に記録されていた利尻島への鯨類漂着等記録を表1に示した。

全21件は、全て1件1個体で、そのうち、オウギハクジラ(オウギハクジラ属種不明鯨類1個体を含む)が6個体と最も多く、イシイルカ *Phocoenoides dalli* 4個体(リクゼンイルカ型1個体、イシイルカ型2個体、型不明1個体)、ネズミイルカ4個体(「ネズミイルカらしい」1件を含む)、ツチクジラ3個体、シャチ *Orcinus orca* 1個体、シロイルカ *Delphinapterus leucas*(目撃報告)1個体、種不明鯨類が各2個体であった。

以下特筆すべき漂着等事例を報告する。

1998年のシロイルカ目撃

稚内水産試験場試験調査船北洋丸が利尻富士町鰐泊港沖1kmにてROV(水中ロボットカメラ)試験を実施していたところ、シロイルカ1個体がROVに接近し、撮影された(北海道立中央水産試験場 1999) 漂着ではないが、希有な事象であるので記載する。

2008年のイシイルカ(SNH08035)漂着

2008年6月11日午後、利尻富士町鰐泊港町海岸においてイルカがもがいているのを観光客が発見し、バスガイドが町職員へ通報した。体長約1mのイシイルカ(イシイルカ型)で、口の先から出血が見られ、多少の傷があったが大きな外傷はなかった。漁業者の協力により沖合に移送して放流した。このいきさつは2008年6月13日北海道新聞留萌・宗谷地方版朝刊に掲載された。(Fig. 1-2)

2010年のツチクジラ(SNH10050)漂着

2010年8月18日16時頃、住民が利尻富士町鰐泊字富士岬海岸線(45-15-18.6N, 141-12-08.1E 付近)に鯨類が死亡・腐敗状態で漂着しているのを発見した。SNHは外部形態からツチクジラと同定した。利尻富士町が離岸・曳航し、鰐泊港からクレーンにてトレーラーに積載、利尻島清掃施設組合一般廃棄物最終処分場に搬送し8月20日に埋却処分した。その過程で、佐藤雅彦(利尻町立博物館)、佐藤里恵(野鳥の会道北支部)および山谷文人(利尻富士町教育委員会)が調査し、外部形態測定を行うとともに、SNHの要請により脂皮、歯若干量を取得した。体長は910cmであった。(Fig. 3)

2011年のツチクジラ(SNH11002)漂着

2011年2月9日、北海道利尻町杓形字蘭泊海岸(45-09-00.7N, 141-09-15.2E 付近)に鯨類が死亡・腐敗状態で漂着しているのを発見し、利尻町役場に通報した。SNHは外部形態からツチクジラと同定した。利尻町立博物館(佐藤雅彦、佐藤里恵)が外部形態測定を行うとともに、脂皮・筋肉(若干量)、下顎骨(一部)の標本を採取した。利尻町は現場より個体を杓形港に曳航しクレーンによりトレーラーに積載、利尻郡一般廃棄物最終処分場に移送し、埋立処分した。体長は970cm、性別は♀であった。ほぼ全身が白色で、口の基部の肉が破損し、そこには多数のクジラジラミ類の寄生がみられた。(Fig. 4-5)

2015 年のオウギハクジラ(SNH15010)漂着

2015 年 4 月 11 日, 利尻町沓形 通称「かわっこ」の澗(45-11-04.4N 141-07-54.4E 付近)に鯨が死亡・腐敗状態で打ち上がっている旨住民より利尻町役場に連絡があり, 佐藤雅彦(利尻町立博物館)と佐藤里恵(野鳥の会道北支部)が現場を確認し, 体長等の外部形態について調査するとともに, 同日, SNH に通報した. 利尻町は 13 日, 現場より, 個体を沓形港に曳航し, クレーンにより, ダンプトラックに積載後, 利尻郡一般廃棄物処理場に移送. 14 日に SNH 調査員(松田純佳・黒田実加・神林潤)が写真撮影と外部形態測定ののち, 剖検を行い, 筋肉, 脂皮, 心臓, 肺, じん臓, 腸, すい臓, ひ臓, 血液, (各若干量) 歯(左), 胃, 生殖腺(全量)の標本を採取した. 利尻町は同日, 埋立処分した. (Fig. 6-7)

体長は 477.6cm 性別は♂で, 腐敗が見られ上顎先端は一部欠損していた. 体表面には成熟雄同士の闘争により生じたと考えられている擦過傷が明瞭に見られた. 死後にできたとみられる海鳥等によると推察される食害跡が多数見られた. また, 背びれには生前からあったと推察される切れ込みが見られた. (Fig. 8) 致命的な外傷は見られず, 剖検を行ったが腐敗が進んでおり, 肉眼的な病変は特に観察されなかった. 胃を現場で採材し, 後日北海道大学函館キャンパスにおいて胃内容物調査を行った. 意味のある餌生物は出現せず空胃であったが, 前胃から黒色のビニール片が出現した. (Fig. 9)

文献

- 北海道立中央水産試験場, 1999. 北水試だより 45: 5.
- 石川創・後藤睦夫・茂越敏弘, 2013. 日本沿岸のストランディングレコード(1901～2012). 下関鯨類研究室報告 No. 1. 下関海洋科学アカデミー鯨類研究室. 下関. 314pp.
- 石川創(編), 2014. ストランディングレコード(2013 年収集). 下関鯨類研究室報告 No. 2. pp.21-43. 下関海洋科学アカデミー鯨類研究室. 下関.
- 石川創(編), 2015. ストランディングレコード(2014 年収集). 下関鯨類研究室報告 No. 3. pp.28-48. 下関海洋科学アカデミー鯨類研究室. 下関.
- 佐藤雅彦・山田格, 1999. 利尻島におけるクジラ類漂着記録 (1997-1998). 利尻研究, (18): 93-95.

図説明

Fig. 1 2008 年 6 月 11 日に利尻富士町鴛泊港町海岸にて発見された漂着イシイルカ（イシイルカ型）

Fig. 2 2008 年 6 月 11 日に利尻富士町鴛泊港町海岸にて発見された漂着イシイルカ（イシイルカ型）の救出状況

Fig. 3 2010 年 8 月 18 日に利尻富士町鴛泊海岸にて発見された漂着ツチクジラ

Fig. 4 2011 年 2 月 9 日に利尻町杓形字蘭泊海岸にて発見された漂着ツチクジラ

Fig. 5 2011 年 2 月 9 日に利尻町杓形字蘭泊海岸にて発見された漂着ツチクジラの頭部

Fig. 6 2015 年 4 月 11 日に利尻町杓形にて発見された漂着オウギハクジラの漂着状況

Fig. 7 2015 年 4 月 11 日に利尻町杓形にて発見された漂着オウギハクジラの全身写真

Fig. 8 2015 年 4 月 11 日に利尻町杓形にて発見された漂着オウギハクジラの背びれ

Fig. 9 2015 年 4 月 11 日に利尻町杓形にて発見された漂着オウギハクジラの前胃から発見されたビニール片

表 1 今までに記録されている利尻島での鯨類の漂着等記録. 1 件あたりの個体数は全て 1 個体である. 科博:国立科学博物館, 日鯨研:日本鯨類研究所, 利尻博:利尻町立博物館, SNH:ストランディングネットワーク北海道, O-, RO-, DO-は下関鯨類研究室登録番号, SNH は SNH 登録番号, RTMM-は利尻博標本番号.

発見年月日	種名	学名	同定	性別	位置	状況	生/ 死	体長	備考	登録番号・ 標本番号
1993/1/5	オウギハクジラ	<i>Mesoplodon stejnegeri</i>	DNA/後 藤睦夫 (日鯨研) DNA	♀	利尻町杵形 字種富町岩 場	漂着	死亡	約 4.3m		O-170
1996/9/30	オウギハクジラ 属種不明鯨類	<i>Mesoplodon</i> <i>spp.</i>		不明	利尻富士町 大磯	漂着	死亡	不明	腹部に食害あり.	O-640
1997/10/21	ツチクジラ	<i>Berardius bairdii</i>	外部形態/ 山田格 (科博)	不明	利尻町杵形 字新湊	漂着	死亡	約 8m	佐藤・山田(1999)に記載.	O-473, RTMM-123
1998/2/16	オウギハクジラ	<i>Mesoplodon stejnegeri</i>	外部形態/ 山田格 (科博)	♀	利尻町杵形 字種富町	漂着	死亡	5.15m	佐藤・山田(1999)に記載.	RO-584, RTMM-124
1998/3/16	ネズミイルカ	<i>Phocoena phocoena</i>		不明	利尻町仙法 志神磯	漂着	死亡	1.31m	佐藤・山田(1999)に記載.	RO-585, RTMM-122
1999/4/10	オウギハクジラ	<i>Mesoplodon stejnegeri</i>	DNA/後 藤睦夫 (日鯨研)	♂	利尻町仙法 志御崎沖 800m	漂流	死亡	不明	4 月 13 日に利尻博が解体し科博に頭骨, 胸鰭, 頸椎, 骨盤骨を送付.	O-637
1999/4/11	ネズミイルカ	<i>Phocoena phocoena</i>	外部形態/ 石川創 (日鯨研)	♀	利尻町仙法 志字神磯	漂着	死亡	1.65m	鮮度良. 胎児1をカラスが引きだしていた. 腹部 にはそれ以外の胎児はないようだった. 上顎の 歯を液浸にして保管.	O-642
1999/5/12	シロイルカ	<i>Delphinapterus leucas</i>	外部形態/ 稚内水産 試験場	不明	利尻富士町 駕泊港沖 1km	目撃 情報	生存	不明	稚内水産試験場試験調査船北洋丸による ROV 試運転中に撮影.	EX-047
1999/5/31	イシイルカ	<i>Phocoenoides dalli</i>	頭骨形態/ 石川創 (日鯨研)	不明	利尻富士町 本泊港	漂着	死亡	1.78m	白骨化. 坂本里恵氏により発見. 利尻博は回収 日を 1999 年 6 月 30 日と記録	O-695, RTMM-173
2001/6/15	イシイルカ(リク ゼンイルカ型)	<i>Phocoenoides dalli (truei)</i>	外部形態/ 利尻博	不明	利尻町仙法 志元村	迷入	生存	約 1m	瀕死の状態で発見されたが, 翌日不明となっ た.	DO-057

type)										
2001/6/26	イシイルカ(イシイルカ型)	<i>Phocoenoides dalli (dalli type)</i>	外部形態/ 利尻博	♂	利尻町仙法 志字本町	漂着	死亡	2.28m	写真と計測あり。頭骨を利尻博が保管。	DO-067
2002/10/4	種不明鯨類	<i>Cetacean spp.</i>		不明	利尻富士町 鬼脇字南浜	漂着	死亡	残部約 3m	腐敗, ほぼ白骨化。下半身のみ発見された。後日波で流出した。	
2003/7/28	シャチ	<i>Orcinus orca</i>	外部形態/ 利尻博	不明	利尻町沓形 字栄浜地先	漂着	死亡	約 6.5m	全身骨格を利尻博が所持した。	O-1463, RTMM-210
2004/2/00	ネズミイルカ?	<i>Phocoena phocoena</i>	外部形態/ 利尻博	不明	利尻富士町 本泊	漂着	死亡	不明	頭骨と背骨, 肋骨(一部)を利尻博が回収。	RTMM-212
2004/7/10	クジラ頭骨一部	<i>Unidentified Whale</i>	外部形態/ 利尻博	不明	利尻町仙法 志沖	漁具 で回 収	死亡	不明	ナマコ漁の八尺にはいていた。	RTMM-214
2006/3/31	ネズミイルカ	<i>Phocoena phocoena</i>	外部形態/ 利尻博	不明	利尻富士町 鬼脇清川	漂着	死亡	1.27m	波打ち際にカラスに食べられている個体あり。胸部から腹部は皮脂, 内臓などほとんど消失。肝臓などが残っているのみ。尾部は白化していたが, 頭部などはまだ黒い表皮が残っている状態。下顎わずかに破損。歯はすべて残っている。前肢も残っていた。頭骨を利尻博が所持。	RTMM-222
2008/6/11	イシイルカ(イシイルカ型)	<i>Phocoenoides dalli</i>	外部形態 /SNH	不明	利尻富士町 鷺泊港町	漂着	生存 →放 流	約 1m	岩場で発見。利尻富士町役場職員が漁船で沖に放流。	O-2390, SNH08035
2010/8/18	ツチクジラ	<i>Berardius bairdii</i>	外部形態 /SNH	不明	利尻富士町 鷺泊富士岬	漂着	死亡	9.1m	右下顎の大部分。2つの歯あり。左下顎の一部。歯があった先端部分は利尻博と SNH が所持。	O-2961, SNH10050 RTMM-262, 263
2011/2/9	ツチクジラ	<i>Berardius bairdii</i>	外部形態 /SNH	♀	利尻町沓形 字蘭泊	漂着	死亡	9.7m	住民が発見し利尻町役場に通報。筋肉, 脂皮, 下顎骨(一部)は SNH が取得し, 国内研究機関に譲渡。下顎骨(一部)は利尻博で保管。	O-3094, SNH11002 RTMM-264
2015/4/11	オウギハクジラ	<i>Mesoplodon stejnegeri</i>	外部形態 /SNH	♂	利尻町沓形 富士見町	漂着	死亡	4.776m	海岸で座礁・死亡。SNH が処理場で解体・計測。左下顎の歯1点, 歯に付着していたエボシガイ類を利尻博が所持。筋肉, 脂皮, 心臓, 肺, じん臓, 腸, すい臓, ひ臓, 血液(各若干量) 胃, 生殖腺(全量)は SNH が取得し, 国内研究機関	O-4394, SNH15010 RTMM-301, 302

に譲渡.

2015/6/9	オウギハクジラ	<i>Mesoplodon stejnegeri</i>	外部形態 /SNH	♀	利尻町仙法志字神磯	漂着	死亡	約 5m	6 月 9 日に利尻町役場に通報があったが, 波などで処理ができず, 翌 10 日, 処分場にて埋設処理.	O-4476, SNH15018
----------	---------	------------------------------	-----------	---	-----------	----	----	------	---	------------------



Fig. 1 2008 年 6 月 11 日に利尻富士町鴛泊港町海岸にて発見された漂着イシイルカ（イシイルカ型）



Fig. 2 2008 年 6 月 11 日に利尻富士町鴛泊港町海岸にて発見された漂着イシイルカ（イシイルカ型）の救出状況



Fig. 3 2010 年 8 月 18 日に利尻富士町鴛泊海岸にて発見された漂着ツチクジラ



Fig. 4 2011 年 2 月 9 日に利尻町杓形字蘭泊海岸にて発見された漂着ツチクジラ



Fig. 5 2011 年 2 月 9 日に利尻町沓形字蘭泊海岸にて発見された漂着ツチクジラの頭部



Fig. 6 2015 年 4 月 11 日に利尻町沓形にて発見された漂着オウギハクジラの漂着状況



Fig. 7 2015 年 4 月 11 日に利尻町沓形にて発見された漂着オウギハクジラの全身写真

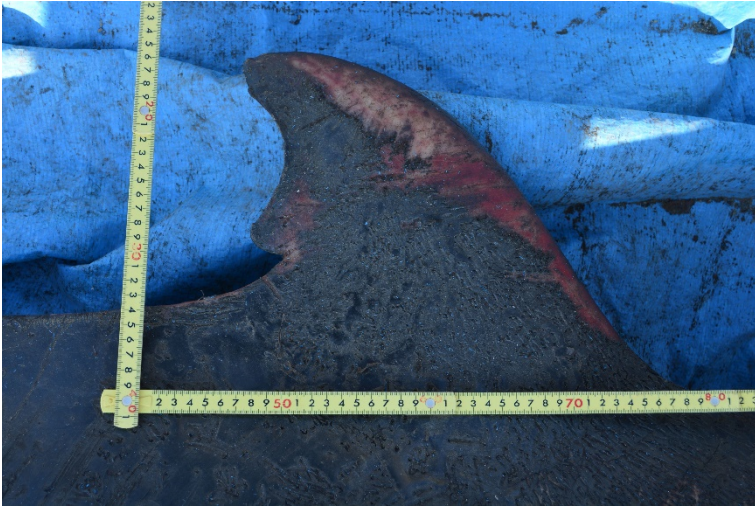


Fig. 8 2015 年 4 月 11 日に利尻町沓形にて発見された漂着オウギハクジラの背びれ

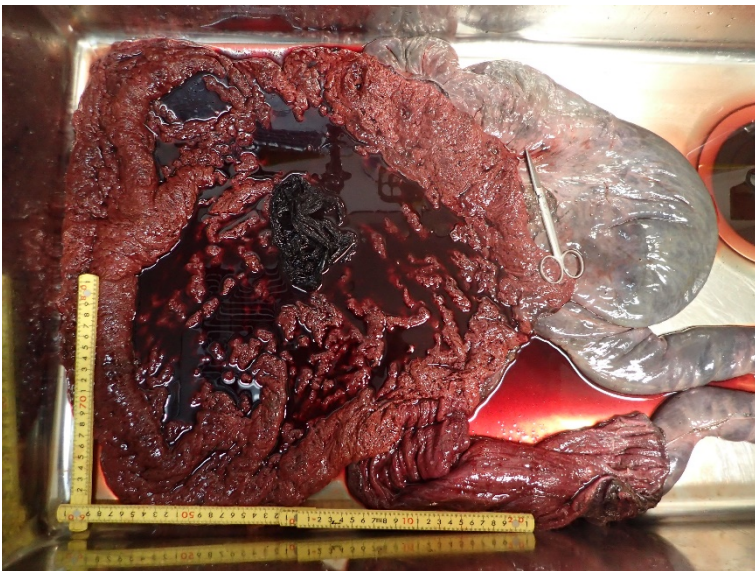


Fig. 9 2015 年 4 月 11 日に利尻町沓形にて発見された漂着オウギハクジラの前胃から発見されたビニール片